

今回の調査ではリスク評価を行い際に、アフラトキシンの生体への取り込みは吸入性粉塵だけでなく、消化器よりの取り込みにも考慮して総粉塵を評価すべきであるという前提に立った。そのために、TR サンプラーによる評価に加えてオープンフェイス LVS (TR を分ける衝突板を有しないオープンフェイスのホルダーを LVS (ローボリュームサンプラー) にて 10 ~ 20 リットル/min で吸引した。その際にデジタル粉塵計で計測し、K 値を求めて船倉全体におけるデジタル粉塵計の測定値から粉塵濃度を換算して、船倉内全体のリスクを評価した。

参照資料

1. プレスリリース「輸入とうもろこし中のアフラトキシンのモニタリング検査結果に基づく注意喚起について」、農林水産省、平成 15 年 8 月 22 日
2. 「カビ毒 (アフラトキシン) を含有する食品の取り扱いについて」(食監発第 0326001 号)、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課、平成 14 年 3 月 26 日
3. 「食品衛生法第 26 条第 3 項に基づく検査命令の実施について」(食安輸発第 0330001 号)、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課、平成 19 年 3 月 30 日
4. Notification G/SPS/N/EEC/51, World Trade Organization, 14 October 1998.
5. JL Herrman and R Walker. Risk analysis of mycotoxins by the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA), FNA/ANA 23, 1999.